

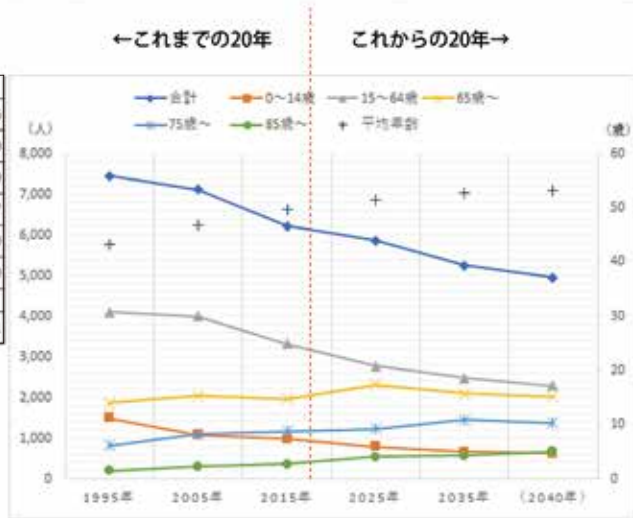
# 地域おこし協力隊えりきみの活動日記 その3 ちなみに、

こんにちは、活動日記3回目の担当はえりきみの「えり」ことえりなです。  
夏休みが始まり、海に川にと毎日楽しそうな子どもたちの姿が見られるようになりました。  
私も沖永良部島で過ごす初めての夏を、満喫しようと思います!



## 知名町の人口の推移

	1995年	2005年	2015年	2025年	2035年	(2040年)
合計	7,456	7,115	6,213	5,868	5,248	4,946
0~14歳	1,494	1,061	974	785	661	630
15~64歳	4,104	3,991	3,319	2,767	2,484	2,289
65歳~	1,858	2,043	1,971	2,316	2,103	2,027
75歳~	823	1,091	1,177	1,234	1,455	1,370
85歳~	199	301	368	538	566	670
平均年齢	43.3	46.7	49.6	51.4	52.8	53.1



※2015年以前の数字は「国勢調査」より、  
2025年以降の数字は「国立社会保障・人口問題研究所  
将来推計人口」より

今回は、数字について。私は前職でメディア関連の窓口を担当していたこともあり、何をやるにしても、「数字を意識しなさい」と言われていました。もちろん数字に表せない感覚的な事柄も大切だと思いますが、何かを人に伝えるときに一番わかりやすいのは、やっぱり世界共通の数字です。

ただ、数字はそのままでは「事実」でしかないのです。その数字を「読み解く力」が重要です。一例として上に出したのは、既に見慣れたものかもしれませんが、知名町のこれまでの二〇年とこれからの二〇年の人口の推移です。

「やっぱりどんどん人が減っていくんだー」。それだって知らないよりは知っている方がよっぽど良いですが、もう少し踏み込んでみると、二〇四〇年には「十五〜六四歳の人口(生産年齢人口)と六五歳以上の人口が同じくらいになる」とか、「十四歳以下の人口と八五歳以上の人口が逆転する」とかが見えてきます。きっとその頃には子どもは今より更に「島の宝」でしょう。定年という考え方もきれいさっぱりなくなっているかもしれません。ご存知の通り、日本は世界一の少子高齢化先進国で、世界中が、日本がこの状況をどう乗り切るのか興味を持っています。そう考えると、これらの数字を読み解いて、自分のやるべきことを見つけ出し、どんな知名町をつくっていくかが、考えるとわくわくしませんか?

もちろん数字は人口だけではありません。知名町のホームページや各省庁から出されている情報の中にも色々な数字がありますので、ぜひご覧になり、読み解いてみてください。

ちなみに、今現在私は三二歳。二〇四〇年には五四歳。知名町の平均年齢に追いつきます。引つ張っていかなくちゃいけない世代だと理解しながらも、えらぶの夏の楽しい誘惑に負けています。



1\_友達がえらぶ産の夜光貝で「えらぶピアス」を作ってくれました。2\_お気に入りのビーチで下手くそな三味線を練習中です。3\_初めて食べた島の魚。まさかこの熱帯魚を食べる日がくるなんて...。4\_舟こぎで奄美大島に行ってきました。5\_瀬利覚のホーまつり、素敵でした。